

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 松本 恭一

副会長 金島 弘

幹事 小林 昭弘

会計 金子 芳則

2017-2018年度 RIテーマ

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018 RI会長 イアンH.S. ライズリー

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館5階大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2958号 (2017年8月23日発行)

今週のプログラム

「銚商夢市場プロジェクト」

銚子商業高校 教諭 石毛 宏幸様

前回例会報告 (8月9日)

点 鐘：松本 恭一 会長

ロータリーソング：我等の生業

四つのテスト唱和 ビジターなし



会長挨拶

本日は大変気温が高いようですが、この暑さに負けない充実した例会にしたいと思います。この一週間ですが、5日(土)地区の奉仕プロジェクト委員会セミナーがございまして小林幹事、高瀬委員長、佐藤委員長とともに出席してまいりました。地区社会奉仕委員会に出向されている高木会員も生き生き動き回っていました。後ほど佐藤国際奉仕委員長より報告していただきます。



さて、本日8月9日は「ピサの斜塔が着工された日」にあたります。1173年のことですが177年かけて完成しました。ピサの斜塔といえばガリレオ・ガリレイが思い浮かびますが、「ガリレオと四つのテスト」というテーマで話させていただきます。

ガリレオのエピソードは、ピサの斜塔から二つの重さの違う重りを落とす実験をしたこと、コペルニクスの地動説を支持し宗教裁判にかけられ「それでも地球は回っている」と呟いたことなどありますが、いずれも

真偽は定かではないようです。

当時は、ギリシャ時代のアリストテレスの考えに基づいたローマカトリック教会に支配されており、その考えに背くと異端児とされ異端審問裁判(宗教裁判)にかけられました。事実ジョルダノブルーノは地動説を支持し、自分の考えを曲げなかったために火刑に処せられました。同じガリレオは何故有罪になったけれども助かったのか、「四つのテスト」に照らし考えてみます。

「真実かどうか」ガリレオは夜空を実際に望遠鏡で初めて観測した人物です。それにより木星の衛星、金星の満ち欠け、月のクレーター、天の川が星の集まりであること等を発見し、地動説の証拠を見つけ出しました。これはイエズス会(修道会)も認めました。

「みんなに公平か」出版した「天文対話」という本は、天動説、地動説それぞれの立場の人間が対話するという構成で公平な内容でした。

「好意と友情を深めるか」後のローマ教皇になる人物の家庭教師をやり、皆に尊敬されていました。又当時支配していたメディチ家とも親しい関係でした。

「皆の為になるかどうか」2回目の裁判後に地動説を放棄しましたが、それはもっと大事なこと、すなわち実験観測による新たな「科学的手法」というテーマを後世に残す為でした。そして「新科学対話」を著しましたが後のニュートンにも影響を与えました。

ここまでではほぼ完ぺきのように思いますが、ある時二人のイエズス会師と両説に対し論争になり相手を罵倒してしまいました。これによりイエズス会が反ガリレオになってしまいました。唯一「好意と友情を深めるか」に失敗してしまっただけです。

職業奉仕の根幹である「四つのテスト」がそのままビジネスに応用できるかは疑問ですが、時々自分の行動を戒める為には何か役に立ちそうな気がします。



ロータリー：
変化をもたらす

第2790地区
ガバナー 寺嶋 哲生 (柏RC)

広報・会報委員会 委員長 副島 賢治
副委員長 遠山 靖士 委員 大岩 将道

幹事報告

【週報拝受】鹿島臨海RC

成田空港南RC、波崎RC

【活動計画書拝受】小見川RC

1. 誤記のお詫び及び誤記に伴う
正誤表送付 …(株)北斗企画
2. 平成29年度千葉科学大学CISフォーラムの開催に
ついて …千葉科学大学



会員の記念日

☆誕生日おめでとうございます。



小田島國博会員
(8月3日)



小林 昭弘会員
(8月8日)

創業記念日 伊藤 浩一会員(8月3日)

ニコニコBOX なし

卓話「出前教室に参加して」

石毛 英俊会員



皆さん、こんにちは。私は6/27火曜日に銚子六中二年生の出前授業に行きまして。これは前年度の取り組みでしたので、銚子ロータリークラブからは、島田洋二郎前会長、石毛充前幹事、佐藤直子前職業奉仕委員長、田中英子前青少年奉仕委員長、そして先生としては、信太秀紀会員、遠山靖士会員、副島賢治会員、そして私の4名が参加いたしました。

この出前授業の様子は、大衆日報にも掲載され、中でも信太会員の授業内容は4回に渡って連載されました。私は、『ホテル真実の瞬間』というタイトルでお話しをさせていただきました。まずタイトルに引きつけなければいけないと、このようなタイトルにいたしました。『真実の瞬間』というのは、1990年に発刊された、『真実の瞬間—SAS(スカンジナビア航空)のサービス戦略はなぜ成功したか』という本から引用いたしました。これは、航空会社のサービススタッフが航空機を利用する顧客と実際に直接関わる時間はたったの15秒しかなく、一見航空機を利用する顧客はフライト時間の間ずっと消費体験をしていると思われがちですが、実際の顧客満足度を左右するのは直接スタッフと向き合っている15秒に集約されるという考え方です。

つまり、真実の瞬間とはこの15秒間でいかに顧客満足度を高められるか、というものになります。(株式会社Emotion Tech最初の15秒で決まる航空業界の世界最年少CEOが提唱する真実の瞬間とは から引用)

これはホテルにも同じことが言えまして、私は、お客様がホテルに到着して出迎える瞬間、初めてお客様とホテルスタッフが会う瞬間が最も大切だと考えており、非常に気を付けていることだという事を中心にお話しさせていただきました。

さて、銚子六中の生徒さんの印象は、今時の中学生はどんな様子なのか、昔の不良のような生徒はいないのかとか、全く想像が付きませんでした。会ってみるとみんな純粋な子たちで話も良く聞いてくれました。私もとても楽しくお話しさせていただきました。

このような取り組みは生徒さんにとっては、ロータリークラブの皆さんから様々な生業の貴重な話が聞け、彼らが今後の進路を考える上で、とても参考になることだと思います。私が中学生の時にもこんな機会があったらどんなによかったかと思えます。正にロータリークラブだからこそできる社会貢献であり、今後も会員の皆様のご協力をお願いいたします。

逆に、普段あまり接することのない若い世代との交流は私にとっても、とても新鮮でたくさんエネルギーをもらいました。実は私どもが生徒さんに与えられるものよりも、生徒さんから受け取ることの方が多いのかもしれない。

今回特に世代間の交流ということが、相互にとっても大切なことであると感じたことが一番の感想です。以上でございます。

永澤 信会員



7月4日(火)、松本会長、小林幹事、高瀬職業奉仕委員長、櫻井会員、そして私、永澤の5名で銚子第七中学校を訪問。櫻井会員と私が出前授業を行いましたので、本日、報告を兼ねお話しさせていただきます。

七中の2年生、43名の生徒を対象に、5時間目は櫻井会員が6時間目は私が担当しそれぞれ約50分の授業をさせていただきました。まずは、櫻井会員の授業についてです。毎週の例会で司会される姿を見てもお判りの通り、美しいお声と素敵な笑顔で場の雰囲気を作りながら、テーマである「問屋のお仕事」についてお話しされました。ご自身の職業である卸売業について、そして食品が流通する過程を説明された後で、生徒ひとり一人にスーパーで売っているものを挙げてもらい、(生徒は一生懸命答えていました。肉、野菜、魚、お菓子、ジュース、お酒、缶詰などなど。)、最後のほうの生徒はネタがなくて大変な様子でしたが、困っている生徒に対しても妥協せずしっかり答えてもらいながら、生徒全員が考え参加するような授業の構成でした。

生徒が挙げた食品のうち、櫻井会員の会社が取り扱っている食品を紹介しながら、スーパーの売り場を構成する食品のうちほんの一部であることを説明する中で、沢山の会社が関わりスーパーの売り場は出来上がっていること、つまり、どんな仕事でも多くの会社や人の協力があってこと成り立つものであることを伝えておられました。

また、日本の「食品ロス」の問題から、「環境のためにわたしたちができること」を子供たちに考えてもうと共に（日本の食品ロスは約 621 万トン。一方で、世界の食糧援助量は 320 万トン。全世界で不足している食料の約 2 倍を日本は無駄にしていること。約 621 万トンとは、一人 1 日茶碗 1 杯分のごはんに相当する。）、賞味期限と消費期限の違いや、私たちができる食品ロス削減策についての問いかけ、そして、食べ物を捨てないための 10 か条、「買い過ぎないこと」、「作り過ぎないこと」、そして、「スーパーでの買い物は手前の商品から買うこと」などを伝え、子供たち自身が考える機会を作っておられました。

以下、櫻井会員のコメントです。目の前の 14 歳の子供たちが 40 歳になる頃、私は 70 歳になります。私が中学生だった頃、銚子四中は 9 クラスありましたが今は半分以下です。この子供たちに社会保障を全ておんぶに抱っこという老後はあまりに酷です。私を含め、年を重ねても事情があっても、或いは障害を持っていても、自ら働きたいと思う人がいくつになっても若い人たちと共に働き続けられる社会を作るのは私たちの大きな責任だと思っています。子供たちへの授業はとても楽しい経験となりました。この度はこのような貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

私からは、「リスクと未来を考える授業」と題した授業をさせていただきました。冒頭、自己紹介と私の職業である保険業について、例えば、自動車保険や火災保険、そして地震保険についての説明をしつつ、熊本の震災対応で現地に行き活動した経験等をスライドを見せながら簡単にお話し、本題に移りました。

授業の内容は、生徒の皆さんをグループ分けしたうえで、カードゲームとグループワークを通じて、街のパン屋さん（ベーカリーショップ）の経営者の視点で「いいお店」にするための作戦を考え、売り上げを上げるための方法や、リスクと未来について話し合いながら経営戦略をたてるというものです。

経営を疑似体験しながら、「働くこと」や、「仕事を通してお客様や地域に信頼されること」の大切さを実感するとともに、「強みやチャンス・機会を活かすこと」、「様々なリスクを想定し、その対応を考えること」の大切さを学び、社会人として働くことをイメージし、今の日常生活から将来仕事に就いたときなど、様々な場面で必要となる「リスクに備える」考え方を学ぶ機会となればと思います。授業をさせていただきました。

グループワークでは、はじめは各グループ共に戸惑いや纏まりがなく、どうなることやらと思いましたが、途中から話し合いを仕切る生徒やメモを取る生徒など役割分担しはじめた事に感心すると共に、途中からは担任の先生や校長先生にもグループワークに参加頂きながら全員参加型で行えた点は良かったのではないかと感じています。

私にとって、生徒に対し授業を行うという事は初めての機会であり不安もございましたが、今回の授業を行う中で、逆に子供たちから沢山の元気を頂きました。銚子そして日本の将来を担う子供たちに対する関心を常に持ち続け、少しでも役に立てる人間でありたいと強く感

じた次第でございます。このような機会を与えて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

高瀬 幸雄職業奉仕委員長



銚子ロータリークラブがこの出前教室を始めたのは 05-06 年度で銚子ロータリークラブと銚子東ロータリークラブが共同で開催し、銚子第八中学校で第一回目を実施しています。

今後とも、継続事業になると思いますが、教育委員会や中学校の要望があつての事業でありロータリーからの押し付けの事業でないことが前提です。今年度の出前教室を行うに際しては、松本会長が学校関係者を訪問して学校側のニーズを聴取しそれを反映する方向で進めることになりました。そのニーズは次の通りです。若い世代に対して将来の職業選択、あるいは社会勉強の一環として、人生経験の豊かなロータリーメンバーが、家庭、学校、職業、社会における考え方や行動について生徒に伝えることを主眼にして欲しいとの要望でした。今年度の出前教室は 3 回を予定しています。新年度早々の 7 月 4 日に銚子七中で行い、一回目が終了しました。準備期間の少ない中、櫻井会員と永澤会員のご協力を得て無事終えることが出来ました。（講演の内容は永澤会員の記事の通りです）次回は 9 月 5 日には銚子中学校、最後に 11 月 21 日銚子五中で実施することを予定しています。9 月 5 日は、信太会員、寺内会員、鈴木会員、永澤会員が務める予定です。そして、継続事業である以上は、今期の出前教室が終了後は色々な方のご意見を頂き、その中から反省や改善を行い、次の年度に引き継ぎたいと思います。私は、今回の出前教室は職業奉仕委員長の立場で初めて参加しました。銚子七中の生徒は全員熱心で、真面目に聞いて頂きました。そして最後には、生徒の代表が謝辞を述べていただいたときは、大変感動し喜びが湧いてくるとともに、出前教室の大事さと責任感を痛感した次第です。松本会長は 7 月 4 日の出前教室開始に当たり、生徒たちに対しロータリーについて次のように話をされました。ロータリークラブは 200 以上の国と地域に 35,000 を超えるクラブを持ち、120 万人以上の会員を持つ連合体で、メンバーは実業家、専門職業人の集まりです。そして色々な地域で皆様のお役にたつための奉仕活動を行っています。今回の出前教室が皆様のお役に立てれば幸いですと挨拶されました。

ポール・ハリス・フェロー表彰



宮内龍雄会員 高橋宏資会員 猿田正城会員
(マルチ 3 回目) (マルチ 6 回目) (マルチ 7 回目)

委員会報告

佐藤 直子国際奉仕委員長

8/5 奉仕プロジェクトセミナー出席してまいりましたのでご報告します。

- ・各委員会事例紹介と財団基金の活用について
- ・在日スリランカ大使による基調講演

8/8 銚子市世界大会等キャンプ誘致推進委員会の報告



在日スリランカ大使
ダンミカ・ディサーナーヤカ閣下との記念写真 2017.8.5

上総 泰茂青少年奉仕副委員長

銚子・銚子東RC協賛事業
関東近県中学野球大会のご案内
球 場：銚子市野球場

開会式 8月19日(土)午前8時

閉会式 20日(日)午後3時

表彰式にて金メダル・銀メダル授与式を行います
参加者はメイクアップの対象となります。
御多忙中の所恐縮ですがよろしくお願い致します。



【出席報告】

会員総数40名 出席計算37名
出席：27名 欠席：10名 出席率72.97%
欠席：青野君・木曾君・神津君・丸山君
大岩君・信太君・島田君・富永君
鈴木君・高橋宏明君

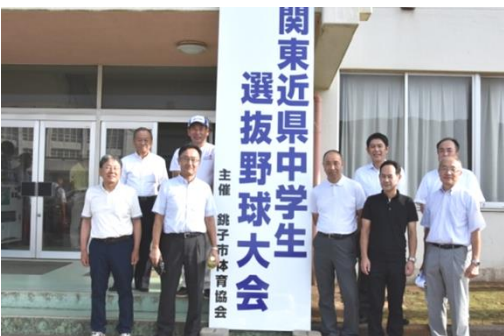
【M U】

8/19 近県野球開会式(12名)

石毛君・金島君・上総君・小林君・松本君
宮内(秀)君・大岩君・島田君・高木君
高橋宏資君・寺内君・神津君

8/21 閉会式 (10名)

石毛君・金島君・上総君・神津君・小林君
松本君・永澤君・大岩君・寺内君・高木君



銚子 RC・銚子東 RC 協賛事業
第 43 回関東近県中学生選抜野球大会

：銚子市野球場

19日(土)悪天候の為、試合中止となりましたが、
20日(日)・21日(月)は、天候も回復し、熱戦が
繰り上げられました。



松本恭一会長開会挨拶



優勝 八幡木中(埼玉県)



優勝チームへ金メダル授与

準優勝
阿見中
(茨城県)

【ニコニコ】

| | | | |
|-----------------|---------|---|----------|
| ニコニコ BOX | ¥ 4,000 | 計 | ¥115,000 |
| スモールコイン | ¥ 2,850 | 計 | ¥ 8,801 |
| 米山 BOX | ¥ ー | 計 | ¥ 8,725 |
| 希望の風 | ¥ ー | 計 | ¥ 56,000 |
| 九州北部豪雨災害義捐金例会募金 | | | ¥ 26,000 |

次週のプログラム (8月30日)

「ガバナー補佐訪問」

第7分区ガバナー補佐 中村 亮太様(旭 RC)
例会終了後、クラブ協議会開催
※全会員の出席をお願いします。

卓話：「こいに恋して」

リトル・フレイバー
バルーンアーティスト 吉井 小也香様

お弁当：大新(幕の内)